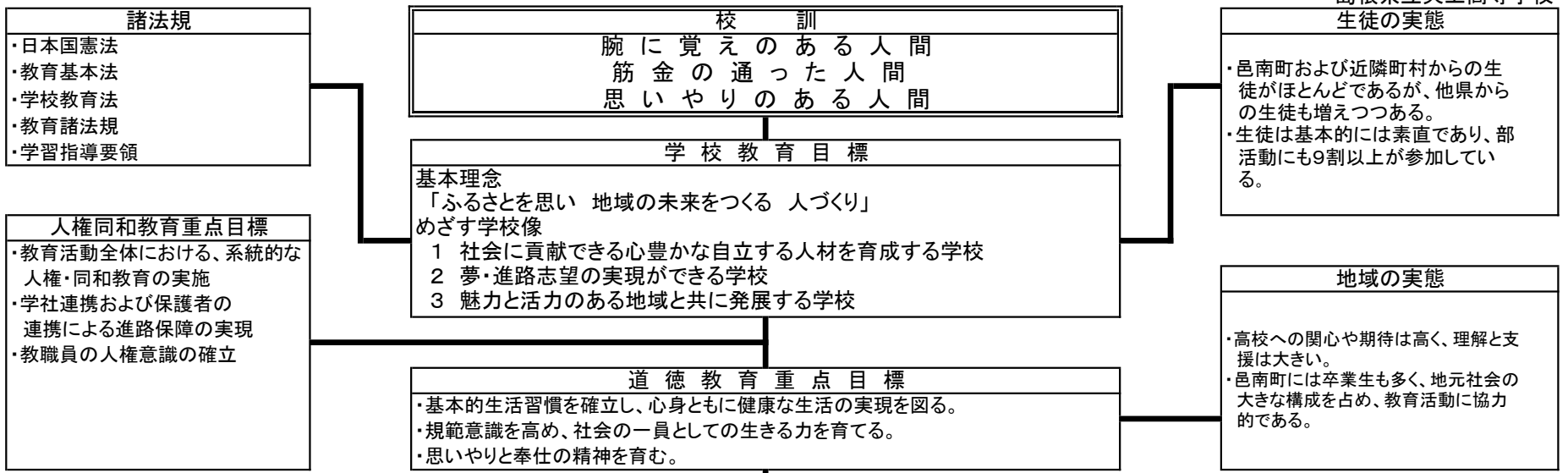


令和元年度 道徳教育全体計画



各学年の重点目標		
1 学年	2 学年	3 学年
高校生としての自覚を持ち、自ら考え、積極的に自己啓発する能力を養う。また、正しく自己を見つめ、愛情を持って人に接する人間性を養う。	中堅学年としての自覚と責任を持たせ、規範意識を高めるとともに、自他を尊重できる生徒を育てる。文武両道を推し進め、その実践を通して自己の生活を見つめ、進路意識を向上させる。	最高学年としての自覚と責任を持たせ、自分の意見を正確に伝え、仲間を尊重する態度を養うとともに、進路実現に向けて自分自身の適性を見極め、主体的に行動する態度を養う。

各教科	
国語	様々な文章を読解することで言語感覚を磨き、相手を理解し、自分を適切に表現する力を養う。
地歴公民	正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める。(公民) 世界の中の日本人としての自覚を持ち、日本及び世界の発展に寄与しようとする姿勢を養う。(地歴)
数学	数学の概念や原理、法則を理解したり、それらを活用したりする中で、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうとする姿勢を養う。
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、総合的な関わりの中から物事を判断することができる科学的な自然観を養う。
保健	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。 個人及び社会生活における健康安全について理解を深め、自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
芸術	自分の意見を伝えることができ、相手の主張を謙虚に受け止めながら様々な場面で思いやりの心をもって活動する力を育てる。
外国語	英語学習を通じて、多様なものの考え方・価値観に触れることによって、世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って思考し、行動する力を育てる。
家庭	男女が協力して、社会や家庭を主体的に創造する力の育成を図る。また実習等とおして人と関わる力や思いやりの心を育てる。
情報	個人情報の管理や、多様な情報の取り扱いについて学ぶことを通じ、情報を主体的に利用し、情報化社会で生き抜く知識や技能を養う。
工業	製品やサービスの利用者から信頼される技術者として、規範意識と倫理観を身に付ける。
農業	動植物の飼育・栽培を通して、生命を慈しむ心を育て、地域社会に貢献しようとする態度を養い、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う。

特別活動	
ホームルーム活動	・ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画する。 ・クラス・コースを超えて、学校全体の活動に生徒が安心して参加できるような支援体制を整え、集団活動上の問題や個々の生徒が直面する諸課題などを、自主的に処理していくような活動を行う。 ・生徒一人ひとりが人間としての在り方生き方について幅広く探求し、豊かな人間性や個性の育成を図るとともに社会の成員として必要とされる資質や能力を養っていくための活動とする。 ・自らの意見を明確に持ち、社会の中できちんと他者に伝える能力を育てる。
生徒会活動	・生徒自ら学校生活のより一層の充実を図ろうとする自発的、自治的な活動を通して、学校への愛着や地域へ所属感を深め、学校の伝統の継承、発展を図る。 ・生徒全員の団結力をつくり、お互いを認め合い、尊重し学校を盛り上げていく。
学校行事	・学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感・連帯感を深め、公共の精神を養う。 ・学校内でクラスの枠を超え協力してより良い学校生活や社会生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 ・集団を単位とする秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。 ・学習の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりする活動を行う。
部活動	・文武両道を推し進め、その実践を通して自己の生活、生き方を見つめる力を養う。 ・部としての、また、個人としての目標を設定し、それを達成するための取り組みを通じて連帯感を深め、また、互いに切磋琢磨することで、お互いを認め合い、尊重する人間性を育成する。

総務	・保護者・中学校・地域との連携した活動を通じ、マナーと規範意識の向上を図る。
教務	・社会に貢献できる心豊かな自立する人材を育成するために言語活動の充実に取り組み主体的・対話的な授業を実践する。
生徒指導	・「生徒の心得」を基本に全教職員の共通理解を図り、保護者や地域の方々や連携して、集団の中のルールやマナー、交通安全に対する意識を育てる。 ・登校指導において、挨拶や服装、時間などの基本的生活習慣の意識を育てる。
進路指導	・生徒一人ひとりが、主体的に進路目標を設定し、その目標を実現できるように計画的・組織的な支援をする。
保健	・より良い学校生活を送るために、心身の健康保持増進と、清潔な環境づくりに努める。
舎務	・寄宿舎生活を送る中で、お互いが尊重しあい、協力し合うことにより、よりよい集団生活を送ることのできる力を育てる。
産業技術	・実験・実習を通して生命の尊さを実感し、個性を認め合う態度を養う。

家庭・地域との連携	
家庭との連携	・ニュースレターやホームページ等を使って学校の教育活動の様子を伝える。 ・PTA総会、PTA委員会活動、学級懇談会、面談などを通じて保護者との意思疎通を図り、学校と家庭との協力関係を構築する。
地域との連携	・産業祭や農業視察、交流学習などを通して地域の人の交流を深め、地域に根ざした学校づくりを進める。 ・ニュースレターやホームページで情報の発信に努め、地域社会の理解と評価を得る。 ・講演会や講習会、未来フォーラム等で積極的に地域の人材を活用する。 ・矢上高校魅力化推進本部会議で地域との連携について協力体制を構築する。

島根のふるまい推進プロジェクトにかかわる取り組み

< 教科 >	○家庭科の授業の一環として、地域や他校との交流学習を実施 ○生物基礎の授業の中で、地域の方を講師に招いて生態系に関する授業を実施 ○科学と人間生活の授業で、地域防災について聞き取り調査等を実施
< 学校行事 >	○1年生が1学期に、集団宿泊研修を実施
< HR活動 >	○2年生が、地域の福祉施設との交流作業学習を実施 ○1年生が石見養護学校高等部と交流学習を実施
< 総合学習 >	○進路講演会として、地域で働く方を講師に招いて、講演・対話集会を実施 ○未来フォーラムを通して、地域の方々との対話活動を行う
< 生徒会 >	○「矢高携帯電話使用マナー5ヶ条」を設定、携帯電話使用のマナー・ルールを生徒達が互いに守る姿勢を養う
< 部活動 >	○吹奏楽部が、地域のイベント等で演奏会を開催 ○各部活動で地域へ出かけてのボランティア活動を実施